

問1【原因・病因】体内鉄の絶対的欠乏によってヘモグロビン合成が低下し発症する貧血。小球性低色素性貧血。貧血症として、最多（日本人女性の約8～10%）。①鉄摂取量の低下（偏食、食事量の減少、胃切除、腸疾患など）、②鉄喪失の増大（慢性出血、消化管出血、子宮筋腫・内膜症など）、③鉄需要の増大（思春期、妊娠中、授乳中の女性）【臨床症状】易疲労感、めまい、頭痛、動悸、頻脈、頻呼吸など、眼瞼結膜の蒼白、心拡大、心雑音、浮腫、舌炎（舌乳頭の萎縮）、嚥下障害、口角炎、匙状爪、異食症
【検査所見】体内鉄が減少すると、まず貯蔵鉄が減少（フェリチン値が低下）、さらに血清鉄が減少しはじめ、骨髓での鉄利用に支障が生じ、ヘモグロビンが低下して貧血が顕在化する。【治療】鉄剤は経口投与が原則。フェリチン値が十分に回復する（少なくとも12～25ng/ml以上）までは継続する。【予防】食生活の改善、鉄吸収率について理解を深める。

問2 加齢、先天的なもの、外傷、アトピーによるもの、他の病気（炎症）、紫外線や喫煙、糖尿病や薬物（副腎皮質ステロイド全身投与、向精神薬など）が原因となる。血中の糖は、タンパク質と結合し、それによって各種最終糖化産物（AGEs）という物質となり、酸化ストレスを引き起こすことにより、目の酸化ストレス、糖化ストレスが上昇し、白内障が起こる。

問3【原因】家族性アルツハイマー病の原因遺伝子：APP（アミロイド前駆体蛋白質）、プレセニリン1（PSEN1）、プレセニリン2（PSEN2）
【危険因子】アポリポ蛋白質E（APOE）遺伝子、加齢、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム、喫煙歴、運動不足、うつ病、ストレスや不安、教育歴が短いこと、頭部外傷など。

問4
 0型 表在型 : 癌が粘膜下層までにとどまる場合に多くみられる肉眼的形態
 1型 腫瘤型 : 明らかな隆起した形態を示し、周囲粘膜との境界が明確なもの
 2型 潰瘍限局型: 潰瘍を形成し、潰瘍を取り巻く胃壁が肥厚し周囲粘膜との境界が比較的明瞭な周堤を形成するもの
 3型 潰瘍浸潤型 潰瘍を形成し、潰瘍を取り巻く胃壁が肥厚し周囲粘膜との境界が不明瞭な周堤を形成するもの
 4型 びまん浸潤型 : 著名な潰瘍形成も周堤もなく、周囲の肥厚・硬化を特徴とし。病巣と周囲粘膜との境界が不明瞭なもの
 5型 分類不能 上記0～4型のいずれにも分類しがたいもの

問5フレイル: 加齢に伴うさまざまな機能変化や生理的な予備能力の低下によって健康障害を招きやすい状態。
 サルコペニア: 加齢に伴う筋肉減少症。骨格筋が萎縮し、筋力低下または身体機能の低下を伴う
 ロコモティブシンドローム: 運動器の障害（筋骨格運動器系の疾患）によって日常生活に制限をきたし、介護・介助が必要な状態になっていたり、そうなるリスクが高くなっていたりする状態

問6尿意切迫感を必須とした症状症候群であり、通常は頻尿と夜間頻尿を伴うものである。切迫性尿失禁は必須ではない。機序は、ウロダイナミックス（尿流動態検査）での蓄尿期の排尿筋過活動が最多である。診断のためには局所的な病態（膀胱腫瘍、膀胱結石、尿路感染など）を除外する必要がある。こうした蓄尿障害症状は生活の質に大きく影響する。治療法は、過剰な水分摂取やカフェイン摂取の抑制、膀胱訓練、骨盤底筋訓練、抗コリン薬、β3受容体作動薬などがある。

問7

- ・ 同世代の男女と新しい成熟した関係を結ぶ
- ・ 男性あるいは女性の社会的役割を身につける
- ・ 自分の体格をうけいれ、身体を効率的に使う
- ・ 親や他の大人たちから情緒面で自立する
- ・ （経済的自立を視野に）職業につく準備をする
- ・ 結婚と家庭生活の準備をする
- ・ 行動の指針としての価値観や倫理体系を身につける
- ・ 社会的に責任ある行動をとりたいと思い、またそれを実行する

問8	女性の健康へのアプローチとして、①尊重、②安全、③ホリスティック、④パートナーシップという4つの特徴をもっており、女性が主体であることへの転換を意図している。																				
問9	小休止や延期などを意味する用語で、介護する側つまり介護をおこなう家族が一時的に介護から離れ、休息やリフレッシュし、継続できるためのものである。																				
問10	クリティカルシンキングとは批判的に考えることをいう。理論や根拠をもとにじっくりよく考え、思考の結果をよりよいものにするために行う。																				
問11	成長過程にある子どもおよびその保護者、並びに妊産婦に対して、必要な成育医療を切れ目なく提供するための施策を総合的に推進することを目的とする																				
問12	就業の動向、看護師等の養成、処遇の改善、資質の向上、就業の促進、病院等の健全な経営確保、看護の重要性に対する国民の関心と理解の促進、ナースセンターの指定、雇用情報の提供、職業指導及び就職のあっせん、新たに業務に従事する看護師に対する臨床研修実施の努力義務、離職届けの努力義務等																				
問13	目的 輸液ポンプは輸液速度を調整するため 項目 1時間あたりの流量(ml/h)																				
問14	段階: 衝撃・防衛的退行・承認・適応 段階的で移行するのではなく、前後しながら長期にわたりこのような段階をたどる																				
問15	傷害期(相)・転換期・筋力回復期・脂肪蓄積期。各期に対して、症状(身体・精神面)・ホルモン分泌の変化を説明する。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th>臨床所見</th> <th>神経・内分泌</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1相(期)</td> <td>傷害期(異化相)</td> <td>体温・脈拍上昇、腸蠕動消失 他者への関心低下</td> <td>副腎刺激状態…アドレナリン、ノルアドレナリン等上昇</td> </tr> <tr> <td>第2相(期)</td> <td>転換期/ 変換期/ 利尿期(異化相)</td> <td>体温・脈拍性状、腸蠕動微弱、喀痰増加、尿量増加 他者等への関心みられる</td> <td>副腎機能は正常化、抗利尿ホルモン正常化</td> </tr> <tr> <td>第3相(期)</td> <td>筋力回復期(同化相)</td> <td>特に異常や変化ない。体重が以前に戻る</td> <td>神経・内分泌の影響なし</td> </tr> <tr> <td>第4相(期)</td> <td>脂肪蓄積期(同化相)</td> <td>性機能の回復</td> <td>神経・内分泌の影響なし</td> </tr> </tbody> </table>		名 称	臨床所見	神経・内分泌	第1相(期)	傷害期(異化相)	体温・脈拍上昇、腸蠕動消失 他者への関心低下	副腎刺激状態…アドレナリン、ノルアドレナリン等上昇	第2相(期)	転換期/ 変換期/ 利尿期(異化相)	体温・脈拍性状、腸蠕動微弱、喀痰増加、尿量増加 他者等への関心みられる	副腎機能は正常化、抗利尿ホルモン正常化	第3相(期)	筋力回復期(同化相)	特に異常や変化ない。体重が以前に戻る	神経・内分泌の影響なし	第4相(期)	脂肪蓄積期(同化相)	性機能の回復	神経・内分泌の影響なし
	名 称	臨床所見	神経・内分泌																		
第1相(期)	傷害期(異化相)	体温・脈拍上昇、腸蠕動消失 他者への関心低下	副腎刺激状態…アドレナリン、ノルアドレナリン等上昇																		
第2相(期)	転換期/ 変換期/ 利尿期(異化相)	体温・脈拍性状、腸蠕動微弱、喀痰増加、尿量増加 他者等への関心みられる	副腎機能は正常化、抗利尿ホルモン正常化																		
第3相(期)	筋力回復期(同化相)	特に異常や変化ない。体重が以前に戻る	神経・内分泌の影響なし																		
第4相(期)	脂肪蓄積期(同化相)	性機能の回復	神経・内分泌の影響なし																		
問16	タイムアウトの目的は、手術事故防止である。タイムアウトとは、ある時点で一時すべての作業を中止し、今回の手術について確認する作業。手術時のタイムアウトは、WHOが提唱し全世界で行われている。																				

問17 発災時に効率的に活動するための対応の基本コンセプト。
 Command & control 指揮命令&統制 Safty 安全確保・Communication 情報伝達、A アセスメント Triage トリアージ・Transport 搬送・Treatment 実践

問18 ・特定健康診査の対象は、医療保険加入者 40～74 歳である。
 ・動機付け支援の対象は以下の1つ該当。積極的支援は2つ該当、喫煙歴、40～64 歳では1つでも、積極的支援に該当する。
 ・条件:腹囲女性 90 センチ以上、男性 85 センチ以上もしくは、BMI25 以上であり、血糖(空腹時血糖 100 以上、HbA1c5.6%以上)・脂質(中性脂肪 150 以上、HDL40 未満)・血圧(収縮期 130 以上、拡張期 85 以上)

表4-2 ヘルスプロモーションの活動方法(オタワ憲章より)

問19 ヘルスプロモーションは、「人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセスである」と定義されている。これは、WHO、オタワ、第1回ヘルスプロモーション会議で示された考えた方。オタワ憲章ともいう。(右図の①～⑤の説明を行う)

- (1) 個人へのはたらきかけ
 - ①個人技術の開発
健康教育や情報提供を通して、個人がみずからの健康をコントロールできる能力を向上させる。
- (2) 個人を取り巻く環境へのはたらきかけ
 - ②健康的な公共政策づくり
保健分野に限らず、公共政策のすべての分野で健康を重要な課題として位置づける。
 - ③健康を支援する環境づくり
自然環境、労働環境、生活環境を健康に役立つように改善する。
 - ④地域活動の強化
住民みずから健康に関する活動に参加し、主体的に行動できることを促進する。
 - ⑤保健サービスの刷新
健康に関する諸機関・団体の連携を推進し保健サービスの提供形態・内容の刷新をはかる。

(宮崎美砂子ほか編「最新公衆衛生看護学総論」第3版、p.20、日本看護協会出版会、2021による一部改変)

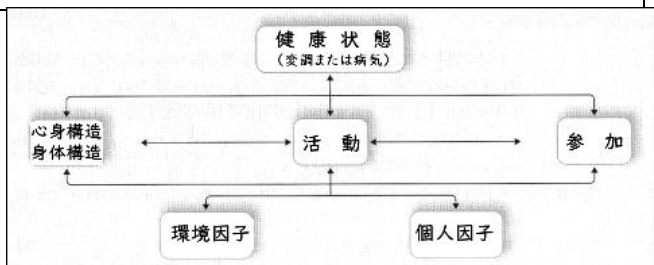
問20・人生会議ともいう。人が自らの価値観、人生の目標、および将来について希望する医療について前もって考え、対話のプロセスを通して他者と共有すること
 (患者や家族のエンドオブライフに関する希望が表現され、尊重されるよう、医療者、チームが状況に応じて支援することが重要)

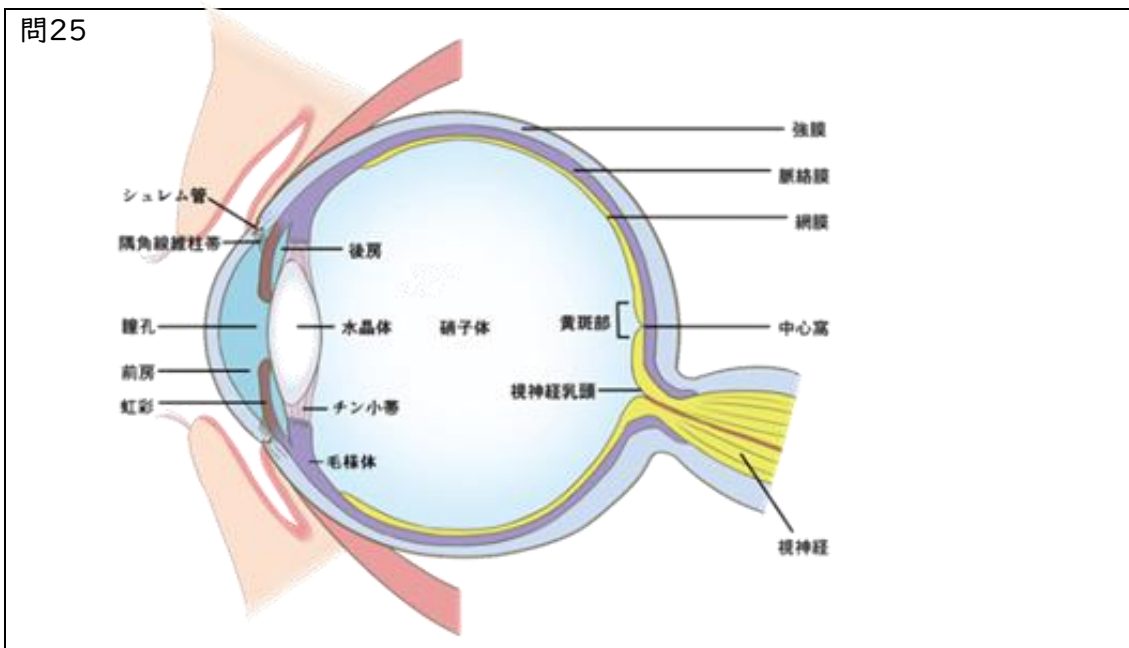
問21 身体的苦痛・精神的苦痛・社会的苦痛・霊的苦痛。各苦痛が互いに影響しあい、全人的苦痛を生じている。・それぞれの苦痛について説明する。

問22 虐待の種類:身体的/心理的/性的/経済的/介護・世話の放棄・放任
 高齢者虐待の特徴:女性7～8割。認知症7割以上。身体的虐待67%、心理虐待6割、虐待を行った養護者のうち、息子が4割、ついで夫2割、同居家族の虐待が多い。

問23
 ・健康保険:1日1回(90分程度)、週3回まで(基本)。対象はすべて人々
 ・介護保険:65歳以上(第1号被保険者)。制限はない。
 第2号保険者は40歳以上～64歳だが、末期の悪性腫瘍療養者等特定疾患は対象となる。
 ・介護保険法に基づく訪問看護ステーション開設には都道府県知事の指定必要
 (1992年老人保健法の改正により、老人訪問看護制度が創設)

問24 ・下図の因子(必須)
 ・ICFとは「健康の構成要素に関する分類」。生活機能上の問題は誰にでも起こりうるものなので、ICFは特定の人々ものではなく、「全ての人に関する分類」である。
 ICFの目的は、「生きることの全体像」。生きることの全体像を示す「生活機能モデル」の共通の考え方として、共通理解に役立つことを目指している。





問26	2人	問27	国際協力機構 (JICA)
-----	----	-----	---------------

問28

①	リンパ(系)型	②	神経(系)型
③	一般型	④	生殖型

問29

①	IgM	②	IgG	③	IgA
---	-----	---	-----	---	-----

問30

図3	d	図4	4
----	---	----	---

問31

- ①呼吸状態の確認。呼吸停止していれば、気道確保。頸動脈蝕知確認(入れてもよい)
- ②①の後、直ちに、胸骨圧迫を開始する。・・・「心臓マッサージ」×
- ③ナースコールもしくはスタッフコールで人を呼ぶ。同時にバックバルブマスク、AED、救急カートを持ってくるよう伝える。
- ④スタッフが到着次第、呼吸停止を伝える。
 - ④' AED 準備、バックバルブマスク (BVM) にて換気、背板挿入
- ⑤AED 準備でき次第、胸部に装着、実施する。
- ⑥⑤AED 指示に従い、胸骨圧迫、換気(酸素投与含む)を繰り返す。
- ⑦医師到着後、状況を報告し、支持を受ける。

問32

保健師として、ソーシャルサポートの利用をセンターでのカンファで提案し、協議。

- ・成年後見制度の利用
- ・社会福祉協議会での金銭管理サービスの利用
- ・甥の支援:経済面、認知面等のアセスメントにより必要であれば、社会的支援につなぐ。

問33 ・Bさんの認知機能、実行機能などをアセスメントし、状態に応じて対応策を

考える。Bさんの思い、長男の思いを聞き、安全に行える方法を考える。

薬ケースの利用、や日付や朝昼夕に薬を分ける等を試してみる。

- ・長男による支援として、薬ケース開始時は飲んだのか等電話での確認を入れ、週2回ほど観察し評価する。難しいようであれば、社会的支援を検討する。
- ・訪問看護をしばらく入れ内服可能な方法を探る。介護認定必要であれば行う。

問34

設問1

任意入院

設問2

Cさんは洗面所でボーっとしており、統合失調症の陰性症状の可能性もあるが、朝夕の体重差が3kgあり、Naが正常値より低く、他の検査値はほぼ正常である。よって、日中の多飲水による水中毒の症状と考えられる。

問35

設問1

γ-グロブリン製剤の点滴静脈内注射の開始により、副作用としてのアレルギー反応を起こすことがある。発症までの時間が10分であることから、γ-グロブリン製剤による即時型のアレルギー反応と考えられる。

設問2

- ・ 母親が疾病についてのどのように理解しているのかを確認する
- ・ 母親の話をじっくり傾聴し気持ちを受け止める
- ・ 母親の緊張、疲労、体調を確認し、心身の疲労を癒すためのケア・環境を提供する